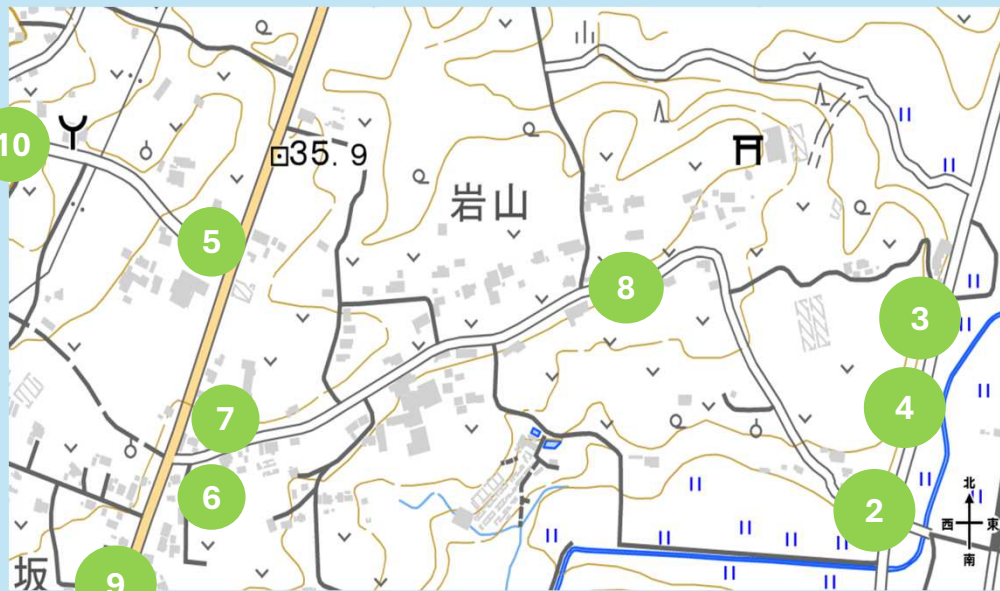


都農町地域資源マップ 10班

住野瑠音・颯川煌叶・久島凜・安井紫乃・橋口由奈



～実習を終えての感想～

質問の意図がうまく伝わっていなかったり、声が小さくて相手に質問が聞こえてなかったりとインタビューの難しさを実感した。それと同時に人の温かさに触れることが出来たフィールドワークになった。自分たちの調査した地区は人通りがあまり無かったが、ずれ違った中学生が自転車に乗っているのに挨拶してくれたり、お散歩をしていた90歳手前の元航空自衛隊のお爺さんが話しかけてくださったりとほっこりとした気持ちを抱き、良い経験になった。（橋口）

都農町の景観は自然が豊かで、山や田んぼが広がっていた。また、都農町の人々は老若男女問わず気さくに話しかけてくれる方たちで溢れていた。こうした住民の人柄や街並みが町の魅力だと感じた。（颯川）

フィールドワークを通して、マップやインターネットのサイトを見たりしてもわからないような都農町の良いところや課題を見つけることが出来て凄くためになった。（住野）

都農町を歩いていて感じたことは、住民の方々がとても温かいということだ。私達の班の散策範囲は都農駅から少し遠かったため、向かう途中で少し迷ってしまった。その時に、畑仕事をしていたおばさんやお子さん連れのお父さんが道を教えてくれて、とても助かった。また、自転車ですれ違った中学生が見ず知らずの私たちに対して元気よく挨拶をしてくれたり、気さくに喋ってくれたり、心温まる瞬間が多かった。都農町全体に根付いている「コミュニティの温かさ」や「子供たちの社会性の高さ」を感じた。（安井）

インタビューを含めたフィールドワークが初めてで、最初は自分たちができるのかと不安な気持ちや緊張も大きかったが、地元の方々がとても優しくしたので、楽しく実習を終えることができた。インタビューでは、自分たちの質問の意図が上手く伝わらなかったり、求めている答えを引き出せなかったりして難しかった。実習を通して、都農町の土地や人柄の素敵なところを沢山発見することができて、良い機会だった。（久島）



1 道の駅つの



岩山周辺を探索している時に会った中学生に普段どこで遊んでいるのか尋ねたら、「道の駅つの」によく行くと教えてくれた。地域でとれた野菜などの食材が売られていて、とても賑わっていた。地元のみさんがマルシェを開いていたり、特産品であるトマトのソフトクリームもあり、どの年代の人でも楽しめる憩いの場である。（安井）

2 道中のポイ捨て



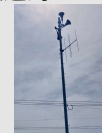
県道302号線沿いの歩道は、ほとんど人通りが見られなかったにも関わらず、飲みかけのペットボトルや、食品トレイなどのポイ捨てが多く散乱していた。また、大きな石が転がっており、班員がつまづいて危険だった。（久島・橋口）

3 ソーラーパネル



宮崎県は日照時間や快晴日数が全国でも上位の地域であり、恵まれて環境を活かして太陽光発電を行っている。都農町散策をしていても、太陽光パネルをよく目にした。かつて日豊本線沿いにあった「リニアモーターカー実験線（約7km）」の高架橋跡地を有効活用し、大規模な太陽光発電所（宮崎ソーラーウェイ）が建設されたそう。屋根にソーラーパネルのある住宅も多く、畑にソーラーパネルを設置したりもしていた。（安井）

4 屋外放送局



10時と12時、15時に流れる屋外放送局を県道302号線と道の駅で発見した。ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章の「歓喜の歌」のメロディーが流れていた。私の住んでいる地区では屋外放送局を見た事が無かったため、とても新鮮だった。（橋口）

5 国道10号線



国道10号線に出ると、急に車通りや人通り、店舗が増えた。道路も綺麗に整備されていた。LAWSONの駐車場がとても広くて驚いた。大きなガソリンスタンドもあったが、宮崎市内より高かった。（久島・安井）

6 都農町の不便さ



今年4月まで居酒屋を営んでいたという夫婦にお話を伺うことができた。都農駅にタクシーが来なくなり、客足が遠のいた事が閉店の大きな要因だそう。交通の便の改善を望んでいた。また、孫を遊ばせられる場所も限られていると悩んでいた。（久島）

7 岩山のバス停



岩山のバス停を見つけた。今年の4月に運行が開始されているが、平日の8:09の1本しか無かった。土日・祝日・年末年始の運行がなく、平日も朝に1本だけなのはとても不便だと感じた。（久島）

8 果樹園・田んぼ



ぶどうの果樹園があり、お話を聞きたかったが、不在のため叶わなかった。また田んぼが多く、道には背丈を超えるほどの草が生い茂っており、視界が悪くて危険な所があった。また、急な坂もあり歩いて行くのが大変だった。（久島）

9 つのコイン



「つのコイン」は地域経済の活性化と住民サービスの向上を目的として運用されている電子地域通貨である。スマートフォンアプリや専用カードを利用して、市内の加盟店で買い物やサービスの支払いができる仕組みとなっており、地域内でお金を循環させることで地元経済を活性化させることを目指している。この制度の特徴は、単なる電子マネーではなく、「地域活動への参加」によってポイントが付与される点である。加盟店での買い物に加え、地域イベントへの参加、ボランティア活動、健康づくり活動、アンケート回答、スタンプラリー参加などによってポイントを獲得することができる。さらに歩数計測や健康関連アプリとの連携機能も導入されており、住民の健康増進を支援する仕組みとしても利用されている。（颯川）

10 牧神社



地元の方に都農町の魅力的なスポットを聞くと、都農牧神社をおすすめされた。都農牧神社は尾鈴山のふもとにあり、自然に囲まれている。春になると、多くの桜やツツジがあり、有名である。国道10号線沿いに大きな鳥居があり、それをくぐって400メートルほど進むと神社の前に到着する。創建は、1725年（享保10年）6月12日、牧場の守護神として藩主が祀ったのが始まりであるといわれている。神社は馬と牛の神様がまつられているそう。日本書紀には推古20年（612）正月、宮中の宴で、推古天皇が「馬ならば日向の駒」と読まれたことが記されており、昔から日向の駒の名前は朝廷にも響き、日本一と称えられていたようだ。（住野）